

令和5年第4回
利根町議会定例会会議録 第4号

令和5年12月8日 午前10時開議

1. 出席議員

1番	山崎敬子君	7番	船川京子君
2番	本谷孝君	8番	井原正光君
3番	佐藤眞一君	9番	五十嵐辰雄君
4番	峯山典明君	10番	山崎誠一郎君
6番	新井邦弘君	11番	大越勇一君

1. 欠席議員

なし

1. 説明のため出席した者の氏名

町	長	佐々木喜章君
教 育	長	海老澤勤君
総 務 課	長	大越達也君
政 策 企 画 課	長	布袋哲朗君
財 政 課	長	蜂谷忠義君
防 災 危 機 管 理 課	長	亀谷英一君
税 務 課	長	鈴木壮君
住 民 課	長	永田幸夫君
福 祉 課	長	服部豊君
子 育 て 支 援 課	長	松永重生君
保 健 福 祉 セ ン タ ー 所 長		勝村健君
生 活 環 境 課	長	飯島弘君
保 険 年 金 課 長 兼 国 保 診 療 所 事 務 長		松本浩睦君
農 業 政 策 課 長 兼 農 業 委 員 会 事 務 局 長		大越聖之君
建 設 課	長	大越正博君
ま ち 未 来 創 造 課	長	清水敬子君
会 計 課	長	本谷幸洋君
学 校 教 育 課	長	中村寛之君
生 涯 学 習 課	長	弓削紀之君

指 導 課 長 丹 晴 幸 君

1. 職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	宮 本 正 裕
書	辰 尾 尚 美
書	齋 藤 リ マ

1. 議事日程

議 事 日 程 第 4 号

令和5年12月8日（金曜日）

午前10時開議

日程第1 一般質問

日程第2 休会の件

1. 本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

日程第2 休会の件

午前10時00分開議

○議長（大越勇一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は10名です。

定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

ここで、昨日の一般質問の答弁について佐々木町長より発言を求められておりますので、これを許します。

佐々木町長。

〔町長佐々木喜章君登壇〕

○町長（佐々木喜章君） おはようございます。

昨日の本谷議員の一般質問の答弁の中で、余談ですがと前置きをいたしまして、町は契約となりましたキノコ工場とお話をいたしましたが、「利用申込みがありました」と訂正をさせていただきます。

○議長（大越勇一君） 発言が終わりました。

次に、住民課長より発言を求められておりますので、これを許します。

永田住民課長。

〔住民課長永田幸夫君登壇〕

○住民課長（永田幸夫君） 昨日の佐藤議員の一般質問の際に、外国語のチラシの作成の件で、「関係各課と協議し、作成します」との答弁をいたしました。が、「各課で外国語表記のチラシを作成した際には、転入時に配布いたします」と訂正をさせていただきます。

○議長（大越勇一君） 発言が終わりました。

本日の議事日程は、タブレットに掲載のとおりです。

日程に入る前に、一般質問についての確認事項を申し上げます。執行部には反問権を付与しております。議員の質問に疑問があるときは、反問する旨宣告し、議長の許可を得て反問してください。

次に、議員に申し上げます。会議規則第61条第1項の規定により、一般質問は町の一般事務についてただすものです。したがって、町の一般事務に関係のないものは認められません。また、町長のプライベートな内容などを聞く場でもありません。通告に従い、十分にこれらのルールを遵守するよう申し上げます。

それでは議事日程に入ります。

○議長（大越勇一君） 日程第1，一般質問を行います。

通告順に質問を許します。

9番通告，10番山崎誠一郎議員。

〔10番山崎誠一郎君登壇〕

○10番（山崎誠一郎君） おはようございます。山崎誠一郎でございます。

まず初めに、1日にお亡くなりになりました石井公一郎議員の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

実は、先月11月24日に美浦村で行われました県南町村議員大会の際に、前日に私の自宅に町民の方がお見えになりまして、竣工した消防署の看板が見つらいと、小さいということでお話があり、その24日の県民町村議員大会の際に、稲広の副議長である石井さんに「石井さん、こうやって言われたんだ」と申し上げましたところ、石井さんも「いや、私も全くそのとおりに感じていたんだよ」ということになりました。その場に、管理者の阿見の町長の千葉さんがお見えになっていまして、石井さんのほうからその看板の話をしていただきました。そうしたら、千葉さんも「私も竣工式のときに、いや、見つらいなというように感じていた」ということを千葉さんのほうから言っていただきました。千葉さんのほうは「お金がかかることなので、すぐという約束はできませんが、できるだけ早い時期に目立つ看板を掲げていただくように、稲敷広域組合に提案する」と言っていただきました。どうか皆さん、近い将来に利根消防署の看板が新しいものになった際は、ああ、石井さんが亡くなる前に動いてくれてできた看板なんだなと思い出してくれると、きっと天国の石井さんも喜んでくれるのではないかと思います。

それでは質問に入ります。

町民の皆様におかれましては傍聴においでいただき、またライブ中継を御覧いただき、ありがとうございます。ライブ中継が令和3年3月に始まり、来年3月で3年が経過いたします。町民の皆様には議会で行われている事実、真実が、ライブ中継及び録画でも御覧いただけるようになっております。どうか数多くの町民の皆様に御覧いただき、議会への御意見、議会への要望等をお願いいたします。

なお、一旦落ちついたかに見えましたコロナであります。先日、利根町内にあります老健施設の関係者の方に伺ったところ、いまだ勢いを失っていないとのことでありました。コロナが発症後、4年が経過しようとしております。コロナ対応を担っていただいている町内の医療関係者並びに保健福祉センターの関係者の皆様には、引き続き御対応をお願いするものでございます。

それでは質問に入ります。今回の私の質問は二つであります。一つ目の質問としまして利根町制施行70周年記念事業について、二つ目としまして若草大橋の無料化等についての、二つの質問について質問をいたします。

それでは最初の質問でございますが、利根町制70周年記念事業について御質問いたします。

当町は、昭和30年、西暦で言いますと1955年、1月1日に当時の布川町、文村、東文間村、文間村の1町3か村が合併して、利根町が誕生してございます。合併当時の人口は約9,800人、戸数は1,800戸、産業別の戸数では約6割の60%が農業で、主に稲作農業の町として新たなスタートを切ったとなっております。その後、昭和60年、西暦では1985年、10月には人口が2万人を突破し、人口増加率が茨城県第1位を記録したとなっております。

当町が、利根町ができ上がった昭和30年の合併は、昭和28年10月に国内の町村数を3分の1に減少させることを目的とする町村合併促進基本計画の閣議決定により、主に昭和28年から昭和36年にかけて行われたようでございます。近隣でも、龍ヶ崎市が利根町より約9か月ほど早い昭和29年3月、当時の取手町が昭和30年2月、河内町も昭和30年5月などと、近隣及び国内の自治体が合併ラッシュのようであったと想像されます。そのため、近隣自治体においても、来年から再来年にかけては70周年の記念行事が数多く行われることと想定いたします。

利根町も、6月議会において町長より、令和7年1月1日をもって町制施行70周年を迎えるに当たり、いろいろなイベントにおいて町制施行70周年の冠をつけた記念行事を実施するとの発言がございました。約1年後に70周年を迎えることであり、今後いろいろな計画、準備、実施内容等々を検討をしていくことだと思っておりますが、現在の状況、まだこれから計画されることだと思っておりますが、現在の状況で分かっている範囲で、質問を4項目提出させていただきました。

町民の皆様がどんな、どういうふうな形でやるのかなど、そういったことをお知らせする意味からも質問をしたつもりでおりますので、町民の皆様にお分かりになるように、ぜ

ひ説明をお願いしたいと思います。現在の考えている町の考えを伺いたいと思います。

それでは次、あとは自席に戻らせていただきます。

○議長（大越勇一君） 山崎誠一郎議員の質問に対する答弁を求めます。

佐々木町長。

[町長佐々木喜章君登壇]

○町長（佐々木喜章君） それでは、山崎議員の御質問にお答えをいたします。

70周年記念事業についてですが、町民等提案型事業、各課提案型事業で新規事業と従来の事業に70周年記念の冠をつけた冠事業がございます。

町民等提案型事業については、11件の提案がございました。各課提案型事業については、新規事業として8件、冠をつけて実施する事業が14件ございました。

令和5年11月28日にプロジェクトチームの会議を開催し、各事業について審議を行い、各課提案型事業22件について採用をいたしました。町民等提案型事業につきましては、それぞれの担当課で詳細について精査を行っており、今月10日までに採用・不採用の決定をする予定となっております。

また、協賛事業としましては、町民や団体、また事業者の皆さんが実施する事業・イベント等に対し、財政的な支援はございませんが、利根町制施行70周年記念の名義使用、のぼり旗の使用、広報によるPR等による支援を行ってまいります。

また、ロゴマークの募集につきましては、11月30日の締切りに対し、41点の応募がございました。今後、職員と私で精査し、審査し、数点ほどに絞り込み、町民の皆様からの投票により2月頃に決定したいと考えております。

○議長（大越勇一君） 山崎議員。

○10番（山崎誠一郎君） ありがとうございます。今の答弁をお聞きしまして、既に取りかかっている事業も、かなりの数に上っていることが分かりました。今月10日に採用・不採用の決定を予定しているということで、大体、それで概要が分かってくるのではないのかなと思っております。

ロゴマークも41点の応募ということで、どんどんどんどんこれから進んでいくと思いますが、来年6月、あともう残り3か月半で来年度がスタートします。もうスタートすると、その70周年の式典が徐々に始まっていくということになると思います。

私が提案した四つについては、後ほど総務課長のほうから説明があると思うのですが、長年、利根町に住んでいただいている町民の皆様、そして今まで利根町に対しての発展に寄与された皆様の感謝を込めて、思い出に残る記念事業を実施していただき、そしてこれからは10年、20年、30年と利根町に住んでいただけるような記念行事になるような内容をお願いするものでありますが、総務課長、その辺はいかがでしょうか。力強い御答弁よろしく申し上げます。

○議長（大越勇一君） 大越総務課長。

○総務課長（大越達也君） 事業等の説明でよろしいですか。そうすると、質問の中で、時期、期間ですとか、予算についてとかって質問ございますが……（「それも」と呼ぶ者あり）全部含めて、はい、分かりました。

まず、記念式典の時期及び期間についてということですが、記念式典の時期につきましては、令和7年1月中に開催したいと考えております。記念式典に向けて、令和6年4月より各種記念事業を実施いたしまして、町民の皆様とともに機運を高め70周年を迎えたいと考えております。

次に、予算についてでございますが、70周年記念事業の予算について、現在のところ概算でございますが、各課提案型事業で、新規事業としまして3,497万1,000円、既存の事業に70周年記念事業の冠をつけた冠事業、すみません。先ほどの新規が498万8,000円ですね。冠をつけた冠事業が3,497万1,000円でございます。

参考までに、60周年記念事業の際には、あくまでも事業採択時の予算でございますが、町民等提案型事業で159万5,000円、ワーキングチーム提案事業で1万3,000円、各課提案型事業で、新規で1,921万円、冠事業で1,416万8,000円、合計で3,498万6,000円ございました。

令和5年11月28日開催のプロジェクトチームで、町民等提案型事業の担当課を決定いたしまして、現在、事業内容等を精査し、その後に財政課のほうと協議をさせていただきまして、予算案が確定いたします。確定後の予算案でございますが、2月に実施予定の内示会のほうで御説明のほうをさせていただきたいと考えております。

続きまして、実行委員会の設置予定はということでございますが、今回は設置する予定はございません。

60周年記念事業の際には、町若手職員6名で構成するワーキングチームを5回ほど開催いたしました。その後、課長等で構成する検討委員会を4回開催いたしまして、18名で構成してありました実行委員会を6回ほど開催いたしております。

実行委員会では設置要綱や記念事業の概要について御審議をいただきまして、その後に、進捗状況について御審議のほうをいただいております。ワーキングチームや検討委員会で提案いたしました事業についての変更等は特にはございませんでしたが、貴重な御意見をいただいておりますので、70周年記念事業検討の際にはぜひ参考にさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（大越勇一君） 山崎議員。

○10番（山崎誠一郎君） ありがとうございます。時期及び期間については、1月中に開催を、令和7年1月に開催するという認識で認識しました。

予算については、今おっしゃっていただいた総額で3,200万円ですか、こういったことでやるよということで、実行委員会の設置については設置する予定はないけれども、ワー

キングチームや検討委員会で提案したものを事業に反映させていくということで一丸となって取り組むという姿勢を、私は認識したつもりでございます。

今の話で、町民の方は大体今時点の概略といえますか、それについては分かったと思います。再度言うようになってしまったのですけれども、先ほども言いましたが、今までの利根町に住んでいただいている皆さん、そしてこれからも住んでいただく皆さんに、皆さんのお力で70周年を迎えることができたんだというような、そういった考えをぜひ町民の皆さんにお知らせして、すばらしい10年に一度のこのイベントにつながればいいと思っておりますので、再度、総務課長、この70周年を迎えていただくために、記念事業にする決意的なものをお願いいたします。

○議長（大越勇一君） 大越総務課長。

○総務課長（大越達也君） それではお答えさせていただきます。

60周年の際には結構時間的にちょっと余裕がないということで、1年間多分ずれ込んで実施されたというのを聞いております。そのときは表彰なんかもちよっと間に合わないってことだったのですけれども、70周年記念式典の際には功労表彰、善行表彰等を実施していきたいと思います。

それで、職員の皆さんも、ちょっと期間的に非常にタイトなスケジュールで今やっていますので、町長はじめ町職員一丸となって盛り上げていきたいと思っておりますので、ぜひ議員の皆様方にも御協力のほどお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（大越勇一君） 山崎議員。

○10番（山崎誠一郎君） そうですね、行政、議員も一緒になって、このイベント、大成功裏に終わらせるように、一緒に協力してやっていこうではありませんか。ありがとうございます。

次に、二つ目の質問に入ります。

私、議員に初当選後の令和元年9月、令和2年3月、それと令和3年6月の一般質問で、この今回の質問であります若草大橋の時間帯の無料化の質問について質問をしております。

私、初めての立候補時に、利根町の過疎地域に指定されてしまったこと、それと人口流出、人口減少の大きな原因として、栄橋の通勤通学時間帯の渋滞が大きく影響していると思ひ、初当選後も渋滞解消に取り組んできたつもりでございます。

過去に、議員全員で国会のほうに出向いて、その際、国土交通省のこの橋などの専門の課長補佐2名、それと内閣府の地方推進事務局長の参事補佐官ですか、参事官ですね、参事官補佐の方なんかにもお話を伺ってきて、非常に参考になった話を聞いてきたつもりでございます。そういった経緯もありまして、利根町も、町長が近隣の自治体等と県のほうにかけ合っていたり、近隣の首長さん方とどうにか協力していただけないかといった、いろいろな活動をされていることも承知してございます。

そういった結果もあり、令和2年9月からの4か月間の若草大橋の時間帯の無料化の実

施をされました。ほかにも、栄橋の渋滞の実証実験やドライバーへのアンケートの実施を行うなど、近隣自治体のどこの自治体の住民の方が栄橋、若草大橋を利用されているか等の利用状況に取り組んできたことを認識しております。

そして、前回の質問の際に、茨城県の近隣自治体及び千葉県側の自治体の協力を得て、若草大橋の時間帯の無料化に努めたいとの答弁がありましたが、その後の状況等の変化などについて、現在どんな形で進められているか、そういったところを聞きたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（大越勇一君） 佐々木町長。

○町長（佐々木喜章君） 若草大橋有料道路の通勤時間帯における無料措置実施に至るまでの経緯を改めて御説明申し上げます。

まず、実施に至った経緯でございますが、令和元年12月24日に当時の龍ヶ崎市の市長、中山市長と河内町の雑賀町長と一緒に大井川知事に直接お会いし、栄橋の渋滞緩和と若草大橋有料道路の通勤時間帯無料措置について要望書を提出し、意見交換を行ってまいりました。また、この意見交換の中で、栄橋の渋滞情報と若草大橋有料道路の利用促進を周知するための看板を、県道千葉竜ヶ崎線沿いに設置してほしい旨、県知事に要望してまいりました。

要望に対する知事の回答は、有料道路の無料措置につきましては、前例となる常総市の水海道有料道路で実施したときと同様で、同様に地元において、通行料の減収分を補填し実施してほしいとの回答であったことから、龍ヶ崎市、河内町と協議を行い、まずは利根町が一定の期間試行的に無料措置を行って効果検証するというところで、令和2年9月から12月までの4か月間、若草大橋有料道路の無料措置を行ったわけでございます。

無料措置における効果を検証するために実施した交通量調査、栄橋の通過所要時間調査及び利用者アンケート調査の三つの調査では、栄橋の通過所要時間調査においては、渋滞に入ってから栄橋を通過できる時間が最大差で17分間短縮できたほか、渋滞の長さも短縮されるなど、一定の効果があることが検証されております。この交通量調査結果につきましては、近隣市町の首長に説明する機会をいただき、私と担当課職員とでお伺いし、協力・連携をお願いしてまいりました。

継続した無料措置の実現には近隣市町との協力・連携を図ることが必要であることから、情報交換や情報共有を行うため、担当者レベルにおいて勉強会を開催するよう職員に指示いたしまして、詳細につきましてはこの後、担当課長に説明をさせますが、継続して龍ヶ崎市、河内町と勉強会の開催をしております。

11月には茨城県道路維持課にこれまでの勉強会の内容についてお伝えし、今後の若草大橋無料化の進め方について伺い、その際に、千葉県側において、千葉県が事務局となり（仮称）若草大橋延伸協議会が発足されたと聞いております。私としても、この状況を好機と捉え、若草大橋の無償化も前向きに進めていきたいと考えているところでございます。

もう一つの要望，看板設置の要望につきましては，令和2年12月にもえぎ野台地内の県道千葉竜ヶ崎線沿いに，電光掲示板を設置していただきました。

○議長（大越勇一君） 布袋政策企画課長。

○政策企画課長（布袋哲朗君） それでは，勉強会も含めました，これまでの若草大橋無料化の取組について御説明いたします。ちょっと重複する部分もございますが，御了承願います。

令和元年12月24日，若草大橋有料道路の通勤時間帯の無償化等に関する要望書を茨城県知事へ提出。

令和2年9月1日から12月31日まで，若草大橋有料道路通勤時間帯の無料措置を実施。

令和3年5月11日から令和4年4月21日にかけて，茨城県道路公社及び千葉県の栄町，印西市，我孫子市，茨城県の河内町，稲敷市，牛久市，龍ヶ崎市の各首長へ若草大橋有料道路の通勤時間帯の無料措置結果を報告。

令和4年7月22日に，当町，龍ヶ崎市，河内町の3市町で第1回目の勉強会を開催。当町の状況，栄橋渋滞や公共交通の状況，また若草大橋有料道路の通勤時間帯の無料措置結果について御説明をさせていただきます，意見交換を実施してございます。

令和5年2月20日に，当町，河内町，稲敷市，阿見町の4市町のほか，オブザーバーとして茨城県の道路維持課にも出席をいただきまして，第2回勉強会を開催いたしました。若草大橋有料道路の利用実績，勉強会の開催経緯などを説明し，意見交換をしてございます。

令和5年7月7日に，当町，龍ヶ崎市，河内町の3市町で，第3回目の勉強会を開催いたしました。若草大橋無償化に向け，県や常総市の情報収集と，協議会の発足に向けた検討などの意見交換をしてございます。

そのほか，茨城県道路維持課へ相談に伺う前の令和5年10月4日に河内町，10月19日に龍ヶ崎市に伺いまして，意見交換を実施いたしました。

令和5年11月7日に，茨城県道路維持課へ伺いまして，若草大橋無償化について相談をしてきたところでございます。その中で，県内の有料道路の無償化を実施している常総市，常総有料道路や，過去に未償還分の精算負担金を負担することにより償還期間を前倒しで無料開放した石岡有料道路などの話や，町長からもありましたとおり，千葉県側では，若草大橋延伸線の道路計画の具体化に向けて，意見の交換等を目的とした協議会が発足したことなど，御教示いただいております。今後，常総市，石岡市の情報を収集し，協議会の発足に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

取組状況につきましては以上でございます。

○議長（大越勇一君） 山崎議員。

○10番（山崎誠一郎君） 町長と政策企画課長の御説明を伺いまして，近隣との，近隣及び県ですね，また千葉県側との交渉過程をありがとうございました。

今の中で、この常総市の既に取り組みられた内容、それ非常に参考に当然なと思います。今の話の中で、県のほうは残念ながら、これはもう地元でやって、県のほうではお金を出不せないルールになっているでしょうね、きっとね。それを地元でどういったことをやりくりして解決してくださいと、そういう中身だと思います。その辺もどういったやり方をしたかということ参考にして、どうにかの無料化につなげていただきたいという思いと、あと、この千葉県側にこの協議会ですか、協議会が発足されたというのは心強いと思いますので、その辺の協力を得て、無料化につなげていただきたいと思います。

利根町に若草大橋と栄橋があると、使っているのは皆さん使っているんだよ、利根町以外の。しかしながら、利根町が中心となってやらざるを得ないのは仕方のないことだと思います。そういったところに近隣の自治体の協力をいただくようにして、若草大橋の利用促進、そして栄橋のそれに、渋滞の緩和につなげれば良いというところがございますが、先ほどおっしゃいました、あと、かすみがうらですか。石岡ですね、石岡と常総市、そこを参考にされて、お願いしたいと思います。

前回のときは千葉県側と言ったのですが、今現在、当時の知事が森田知事から、誰ですか、熊谷知事に代わって、ちょっと変わってきたのかなあという感じはいろいろなところからお聞きしておりますが、安食のところですね、これ毎回言うのですけれども、安食のところでは道路がストップしちゃっているのですね。茨城県側はもう既につくばまでつながったというところがございますので、千葉県側が延伸されて、印西ニュータウン、八千代市、佐倉市、千葉市まで延伸されれば、おのずと若草大橋の利用は促進されるのではないのかなということ、あとは千葉県側の道路どこまで早く伸びるか、それが大きな要素ではないのかなと思っております。

いろいろ近隣いっぱいあって大変で、県境ですから千葉県の協力まで仰がなきゃいけないということで大変だと思いますので、どうかお願いしたいと思いますが、現状について、これからどういった形で取り組むか、もう1回お願いしたいと思います。

○議長（大越勇一君） 佐々木町長。

○町長（佐々木喜章君） 山崎議員、今も言っていましたけれども、常総市、石岡市。常総市は常総市内の中で、常総市にある無料化。ただ、利根町は、利根川を挟んで向こう側は千葉県だという点で、千葉県を巻き込んでいかないと、向こうからも来るわけですから、両方無料になっちゃうわけですから、そのうち。その辺が今一番苦労しているところです。

近隣では、やっぱり龍ヶ崎さんが一番通行量多いわけですから、その辺は龍ヶ崎市長も分かっているということで、河内も入れて、徐々に茨城県側も増やしていけよというような指示を与えています、担当課に言っているところ。あとは、栄町、印西市、最初はなかなかこっち向いてくれなかったのですが、何回も何回も足を運ぶと、人というのは変わってくるものですね。市長も印西市長も、栄町の市長は今度代わったのですが、選挙の際も伺ったり、その後も行ったりして、徐々に徐々に変わってきています。

この間、知事がたまたま利根町に、プライベートというか、そういうので来てくれたときに、千葉県側もようやく腰を上げたみたいですよって言ったら、熊谷知事も親しくしているの、何かあれば協力しますよと、力強い言葉をいただいたところです。

あとは、担当課長に答弁させます。

○議長（大越勇一君） 布袋政策企画課長。

○政策企画課長（布袋哲朗君） それでは今、町長のほうから、まず千葉県側のほうのお話させていただきたいと思います。

8月23日に何か千葉県側のほうで、第1回（仮称）若草大橋延伸協議会というのが開催されてございます。この協議会は、（仮称）若草大橋延伸線の道路計画の具体化に向けて必要な意見交換、検討を行うということで発足してございまして、県の道路計画課ほか、印西市や栄町などが入って、検討の協議会のほうが発足されております。

一応、道路のほうにつきましては、千葉ニュータウンと成田国際空港を結ぶ幹線道路であります鎌ヶ谷本埜線、こちらのほうに若草大橋からぶつかるような、一応想定みたいな形になっているところでございます。

今後、こういうような協議会発足されてございますので、少し進んでいくのではないかなというふうに期待をしているところでございます。

茨城県側のほうの話をさせていただきますと、常総市のほうで、まず最初に無償化のほうの取組を実施してございますので、まず、そこの部分につきまして、今月末に一応約束を取り付けておりまして、こちらのほうからお伺いし、ちょっと情報を収集してまいりたいというふうに考えております。1月に入れば、また石岡市さんのほうにももう既に連絡を入れておりますので、そこでちょっといろいろ情報を入れまして、利根町としましても、利根町、龍ヶ崎市、河内町と、まず協議会のほうの発足に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。

○議長（大越勇一君） 山崎議員。

○10番（山崎誠一郎君） ありがとうございます。

この協議会、8月23日ですか、千葉県側にできたと。非常に心強いというか、複数の自治体が一緒になって、県も交えて協議会をつくって、多分道路をどういった形でやるのかと、どういった形で道路をつくっていくのかと、そういった協議会だと思います。当然、協議会をつくったのであれば、結果が出さなきゃいけないでしょうから、その協議会の動きですか、これからどういったものになるのか、そういったものを注視して、それで期待をしながら、期待を持って見守っていくという形になると思いますが、引き続き布袋課長、今月末常総市、1月石岡市、何とぞ参考にしていただいて、いいアイデアを出していただきたいと思います。

過疎地域からの脱却、人口減少の取組、これ、交通の利便性の向上が不可欠だと思っております。首都圏内に位置するこの利根町が、なぜ過疎地域なのかと、なぜ人口の流出が

止まらないのかと。最大の理由は、道路及び電車の交通の不便さが最大の原因であると思っております。

私も40年、会社員勤めやっておりますが、この成田線、常磐線、そしてバス等々を使っておりますが、確かに不便でありましたが、今はその当時よりも関東鉄道もなくなってしまいましたし、大利根交通も便数が減ってしまったということで、この若者が出ていってしまうという理由は分かります。それをぜひ食い止めるということで、食い止める方法はいったら、まず一番は交通網、布佐駅に行きやすい、取手に行きやすいという形が、一番引き止める条件になるのではないのかなと思っております。その第一歩として、若草大橋の利用を促進して、栄橋の渋滞、布佐に速く車でも送ってってもらえるスピードで、速い時間で行けるようにするというところなどが非常に重要な、重要というか、大事になってくるのかなという思いでございます。

昨日もですね、一昨日、昨日と皆さん、交通の問題を一般質問でされておりました。私も非常に、初当選の際に、A I バスの導入ということで立候補したことでありますので、ぜひその辺も非常に今も関心が持っておりますし、2期目も公約として出してもらいました。

実は、先月1月20日から21日、塵芥組合の研修で大阪、京都に行ってまいりました。管理者は、龍ヶ崎市の萩原市長でございます。萩原市長とは議員に立候補する直前から、このA I バスについて勉強してきたつもりでおります。龍ヶ崎市は今年10月から実証実験をされていまして、来年4月に本実施の予定になっているそうでございます。

萩原市長に、A I バスやって、利根町に来てもらえると助かるよねという話をしましたら、萩原市長のほうから、早尾台、羽根野台の隣の南が丘までは龍ヶ崎市のバスが行っているんですよ。毎日、何便も。そこに利根町の人に乗ってくれば、もう利根町の人、龍ヶ崎市の例えば済生会病院とか、龍ヶ崎市駅とか竜ヶ崎駅とか、そういったところに行けますよというアドバイスももらっております。で、長沖、須藤堀ですか、あの辺にもバスがいっぱい走っていますので、利根町のバスがそこにまず来ていただければ、龍ヶ崎のバスに乗り換えていただければ、多分相当便利になるはずですよという話をしております。

そこが、もう町長と政策企画課のこれからの力になると思うのですが、ぜひ龍ヶ崎市方面については、龍ヶ崎市と協議を重ねていただいて、少しでも便利になるようになればいいなと思っております。

あとは問題は、千葉県ですね。千葉県はどうしても、何度も伺っておりますが、大利根交通との兼ね合いがあります。しかし、私も勤めていたのですが、大利根交通は、あれ間違いなく大利根交通さんには失礼ですが、一番混んでいる布佐駅発6時、布佐駅発7時、乗っている人は一番多いときでも10人足らずでありました。それを我慢してやっていただいている大利根交通さんにも申し訳ないのですが、何かいい方法を發揮して、福祉バスが

布佐駅のほうに行けるようになれば、また通勤通学の方が便利になるのではないのかなと思っております。

思いつきというか、ちょっと無責任になるかもしれませんが、多分赤字なはずの大利根交通があれを、大利根交通の布佐駅まで行くやつ、布佐駅発をまだ残してくれているということは、大利根交通さんの責任感でやっていただけているのかなという個人的な思いを持っております。であれば、逆に大利根交通さんと協議をされて、大利根交通さんに福祉バスを委託するというのも一つの考えなのかなと思っております。

どうか、これからこの交通対策が、非常に高齢化になりまして免許を返納しまして、皆さんが御苦労されていく中で、心配の種だということがありますので、その辺を皆さんで協議され、我々も協力して、ぜひ便利になるような、少しでも便利になるようにしていきたいと思っております。そうすると、その変化が徐々に徐々に繋がっていくのかなと思っておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

最後に、私の今定例会での一般質問が、最後の一般質問者となっております。これから慌ただしく、師走ということで年末でありますので、皆様におかれましては体調管理に十分気をつけていただいて、クリスマス、お正月をお迎えになっていただくことをお願ひしまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（大越勇一君） 山崎誠一郎議員の質問が終わりました。

○議長（大越勇一君） 日程第2、休会の件を議題とします。

お諮りいたします。

明日12月9日から12月11日までの3日間は、議案調査のため休会にしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（大越勇一君） 異議なしと認め、そのように決定いたしました。

○議長（大越勇一君） 以上で本日の議事日程は終了しました。

次回の本会議は、12月12日午前10時から開きます。

本日はこれで散会いたします。

お疲れさまでした。

なお、議員の皆様におかれましては御連絡申し上げます。11時から全員協議会等を開催しますので、全員協議会室にお集まりください。

午前10時46分散会